

あっぷる通信

発行: **アップル**
Apple logo

～家族の絆を深め、在宅生活の喜びを創造する～
医療法人 北寿会 介護老人保健施設 アップル学園前
TEL:0742-51-2200/FAX:0742-51-2201



医療法人 北寿会 アップル学園前 理念、方針のご紹介

当法人は「家族の絆を深め、在宅生活の喜びを創造する」という経営理念を掲げ、ご本人とご家族が絆を深め、住み慣れた町に喜びを感じながら暮らせるように支援していきたくと考えています。

この理念を実現させるために、第一に「利用者満足度の向上」利用者の目線にたった感動を呼ぶサービスの提供、第二に「職員のモチベーションの向上」職員各人の自己実現をめざして、という基本方針に沿って取り組んでいます。

ご利用者が満足していただくためには、職員が目的・充実感をもって仕事に取り組む必要があると考え、そのために教育制度の充実、コミュニケーションを円滑にするためのコンピュータネットワークの構築及びさまざまな業務改善の会議などを行っております。

介護には、暖かい気持ちが必要で、当法人もここで働く職員を暖かく見守れるようなそんな法人を目指しています。そして、職員が成長し、充実したサービスを提供することにより、ご利用者、ご家族が安心して在宅生活を送っていただけるよう努力する所存です。

また、地域に開かれた施設となるために、アップル学園前とはどんなサービスを行っているのか、どんな職員が働いているのか、どんな取り組みをしているのかといったことをみなさまにお知らせしていただくことも重要なことだと考えています。この広報紙、ホームページ、アップルの集い（講演会）などを通じて、みなさまに当法人について知っていただければ幸いです。



リハビリスタッフメンバー

ホームページのメインページ
アドレス <http://www.apple-g.or.jp>



ホームページには、小規模多機能型居宅介護アップル、あっぷる通信、アップルの集いの紹介、パンフレットダウンロードサービスの機能を追加しています。アップル学園前で検索していただき、ぜひご覧ください。

(事務長 村田 徹次)

法人全体の取り組み

利用者満足度の向上、職員
のモチベーションの向上には、
コミュニケーションが非常に
重要だと考えています。

職員同士が顔と顔をつき合
わせて、会話を交わすことが
重要なことは言うまでもあり
ませんが、時間の有効活用の
観点から、当法人ではコンピ
ュータを積極的に活用してい
ます。

法人内にコンピュータネット
トワークを構築し、メール交
換や電子掲示板による情報の
共有を行っています。ご利用
者の感謝の声、事故、苦情、
研修内容・会議議事録、介護・
医療最新情報などを掲示し、
自己の知識を高めるとともに、
各専門職間のコミュニケーション
の幅を広げ、サービスの
向上に日々努めています。

☆ヘルパーステーションの取 り組み

介護保険サービスの中で、
ご利用者の生活の場に一番深
く関わるのが訪問介護（ホー
ムヘルプサービス）です。一

見ホームヘルパーといえは、
自宅に訪問して掃除や買物、
調理をしてくれるお手伝いさ
んのような感じを受けますが、
私たちホームヘルパーは、家
事的な内容だけでなく、オム
ツ交換や入浴介助など、日々
の生活を送るための必要な支
援を行い、できるだけ長く住
み慣れた場所での生活してい
ただけのようにお手伝いするこ
とが仕事です。

また、ご家族に介護方法を
指導したり、色々なご相談に
のることで、ご家族の精神的
な支えとなることも私たちの
重要な仕事です。

最近では特別養護老人ホー
ムへの入所までの期間が、ど
の施設も3〜5年程度あり、
各施設約300人待ちといわ
れています。しかし入所申し
込みの7割が家族の希望であり、
本人の希望は1割程度といわ
れています。

今後も皆様が、住み慣れた
場所ですすみたいという思いを
大切にして、訪問介護サービ
スを提供したいと思っております。
お気軽にご相談下さい。

お知らせ

◎あつふるの集いについて

「あまりにも内容が充実して
いて・・・」、第一回アップ
ルの集い（平成十九年十一月
四日開催）の感想が後日、参
加者から送られてきました。

このアップルの集いは、「家
族の絆を深め、在宅生活の喜
びを創造する」という理念の
もと、地域の皆様の役に立つ
情報を発信していきたいと企
画したもので、「老いても在
宅生活を楽しまね」と、「小
規模多機能型居宅介護とは」
をテーマにスライドを交えて
講演しました。

ご参加いただいた方々から、
「次もぜひ出席したい」と、
喜んでいただき、うれしい限
りです。「第二回アップルの
集い」は、来年三月に言語聴
覚士およびメディカルトレー
ナーによる講演を行う予定に
しています。

◎施設入所行事について

十二月十九日クリスマス会
一月十三日もちつき大会



秋の園芸レクリエーションの風景

◎本館通所リハビリ行事について
十二月十九日〜二十一日もち
つき大会
十二月二十二、二十四、二十
五日クリスマス会

◎パワーリハビリ行事について
十二月二十六日〜二十八日も
ちつき大会

◎小規模多機能行事について
十二月二十四日クリスマス会
◎設立後、十年目を迎えてみ
なさまからのご要望もあり、
車椅子入浴装置を新しく設置
しました。

車椅子で膝をの
ばしたままゆっ
たりと入浴でき
ます。家庭のお
風呂に入ってい
る感覚です！



アップル学園前探検隊



今回は、小規模多機能型居宅介護アップルについてご紹介します。

・楽しいこといっぱい！

ー主なイベントー

ショッピングセンターイオンへの外出 外気浴 おやつ作り（焼き芋・ドーナツ・月見団子・たこ焼き・揚げさつま芋 他）
ドライブ ハーモニカ演奏 絵手紙 ミニ運動会 習字 お茶会



ケーキ作りに挑戦！

利用者の皆さんで順番に少しずつ作り、すてきなケーキが出来上がりました。



秋の遠足

けいはんな記念公園へ秋の遠足に行きました。そこで撮った写真が、いま部屋に飾られています。

ミニミニ運動会

小規模施設内でミニミニ運動会を開催しました。タオル体操、玉入れなどで体を動かし、いい汗をかきました。



・魅力いっぱい！

ー利用者の声ー

「急用が出来た時、すぐに通いや泊まりサービスが利用出来てとっても助かったわ。」

「寒い時期でも、暖房の効いた暖かいお風呂に職員の付き添いで一人ずつゆっくり、安心して入れるのが嬉しいわ。」

「体が不自由な母を残して出勤するのはとても不安だったが、出勤時間や帰宅時間に合わせて送迎してもらえ、又、夕食の心配もないことが嬉しい！」

「妻が亡くなり、家事や食事作りが大変だった。でも、小規模が出来て三度の食事、掃除、洗濯の心配が無くなり毎日の生活が快適。気楽なこっちゃ。」

「夫のことが心配で、クラス会も早く切り上げて帰らないと思っていましたが、申し込めば夕食の提供や遅い時間の送迎も可能とのことで、とても助かりました。」

「少人数で職員さんの関わりが多いせいかとても元気になりました。何よりも元のように家族一緒に暮らせるのが嬉しいです。」

「勤務地が遠いため、一人暮らしの母のことが心配。でも、小規模で毎日の安否確認や服薬管理がしてもらえるので安心して仕事ができます。」

「通いや泊まり、訪問のサービスを利用して、旅行に行ったり、お友達との時間も大切に、リフレッシュしながら夫の介護をしています。自宅で安心して過ごせるのも嬉しいですね。」

「登録しておけば、何かあった時に夜中でもいつでもすぐに来てもらえるので安心だわ。」

「利用中に受診の付き添いがしてもらえるのが嬉しいわ。」

理学療法士
泉 秀行

「ウサギとカメ」

現在、理学療法とは、「心身の機能・身体構造に変調のある対象者に対し、それらの回復や健康増進を図る為に、運動・治療体操、徒手治療及び電気・温熱などの物理的介入を行ない、活動と生活機能の向上を促進し、社会参加を支援すること」と定義されています。

突然ですが、童話にウサギとカメが競争する話があります。誰もがウサギの勝ちを信じていました。けれど結果は、カメが勝ちました。これは単なる童話ではなく、私達の心のあり方を示していると思います。ウサギは常にカメを意識していました。そのため、ウサギは自分に慢心し、努力を途中で止めてしまいました。カメは常に自分と向き合い、自分の力を信じてひたむきに歩きました。

私達の行ったりハビリも同様に「周りが何と言おうと、良くなってみせるんだ」という気持ちで自分を信じ、日々を努力して乗り越えていき、自分の出来ることからコツコツと積み重ねていくことが大切です。



アップルに来られた時は車椅子だった方が、夢を持って努力を続け、最近では自宅へ戻り畑へ行き、大きな伝助スイカを作られ、両手で抱えて「こんなん作ったでえ」とアップルに持って来られました。それは、大きな大きな黒いスイカととびっきりの笑顔でした。

自分を信じて諦めない心が不可能を可能にし、努力が実を結ぶのだと実感しました。皆さん、困難な事があっても諦めないで下さいね。

◎アップルだより (アップル壁新聞の抜粋です。)

平成十九年の冬至は十二月二十二日。この日は北半球で最も日が短く、この日を境に曇の目一つ分ずつ日脚が長くなっていきます。

◆柚子湯 (ゆずゆ)

夜は柚子湯に入ります。柚子を二つないし四つに切り、さらして縫った袋に入れて湯船に入ると身体が温まり、ひびやあかぎれにも効果があるとのこと。「冬至の柚子湯に入ると無病息災」といわれています。

◆食べ物

夜はカボチャを食べます。そのほかにこんにゃくや小豆粥を食べる習慣もあります。カボチャやこんにゃくは輸入品であり、珍しい野菜を神に捧げたのが始まりのようです。カボチャを食べると魔除けになり、風邪にかからないといわれています。

編・集・後・記

私が、この時期に食べたくな



るのがカニやふく料理です。二十代半ばより、縁合って知り合った先生や看護師さんたちと毎年、久美浜の民宿に泊まりがけで出かけ、リーズナブルですが絶品のカニ料理を食べていました。

やはり、産地のカニは格別ですね。今年は、奈良に居ながら産地の新鮮なカニを食べられないが、民宿に相談してみようと思っています。

ちなみに事務の忘年会は格安ふくコース料理です。



今年もインフルエンザのシーズンを迎えます。お年寄りが感染すると重篤な症状が現れることがありますので、予防接種を受けることをお勧めします。(村田)